

にほんしゃかいじぎょうだいがく
日本社会事業大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
子ども家庭福祉論 I	前期 (4~7月) 4/7(月)~7/31(木) (補講日含む)	月	1	9:00~10:30	若干名
高齢者の理解と援助		金	3	13:00~14:30	
心理学		金	4	14:40~16:10	

(2) 場所

日本社会事業大学 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

(西武池袋線「清瀬」駅下車 清瀬駅南口バスターミナルより「下里団地行」又は「花小金井駅行(下里団地経由)」「滝山営業所行」で「社会事業大学前」下車すぐ)

※車での通学はできません。



2 受講料等

(1) 受講料 1科目につき 7,500 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 2025年3月3日(月)

(2) 申込先

〒204-8555

東京都清瀬市竹丘 3-1-30

日本社会事業大学 大学教務課 開放授業講座係

電話：042-496-3107

E-mail: gakubu2020@jcsu.ac.jp

(3) 申込方法

E-mailにより、以下の事項をもれなくご記入の上、お申込みください。

- ①住所
- ②氏名（フリガナ）
- ③生年月日、年齢（令和7年4月1日時点）
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目（何科目でも可）

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。

(5) その他

原則、対面授業を予定しておりますが、場合によって、オンライン授業（例：Zoom、課題提示）との併用になる可能性がございます。

この場合、学内ではなくご自宅等において、お持ちの端末で受講してください。

※インターネット通信環境に関するサポート及び、端末の貸し出しはございませんので、ご了承の上、お申込みください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

子ども家庭福祉論 I (有村 大士教授)	過去から現在までの子ども家庭福祉の取り組みや、子どもを取り巻く状況についての基本的な知識を身につける。また子ども家庭福祉の課題に取り組むにあたり、必要な価値概念を検討する。
高齢者の理解と援助 (下垣 光教授)	この講義では、老年期におこる身体的、社会的、心理的な様々な課題についての理解をすすめることが学習の中心的なねらいである。高齢者に直接的に関わる福祉保健領域の仕事に就くか、あるいは就かないかかわらずこれらの課題の特性について基本的な知識をもつことは必要であるといえよう。老年期における様々な課題を理解していることは、人間そのものの身体的、心理的な発達のプロセスなかでの理解や、現代の社会生活、家族のあり方など問題を考えることにもつながるものと思われる。 本講義では、まず援助・ケアにおいて必要である、対象者（この講義では、高齢者とその家族がその対象といえよう）の理解に重点をおいた内容で構成する。さらに講義においては、学習したこれらの基本的な知識を活用し、実際の事例における分析や、援助計画を立案できる力をつけることも講義のねらいに加える。また講義の後半では、認知症のある高齢者の直面する課題を取り上げる。認知症になることにより生じる問題だけでなく、その人自身の視点に立った支援が行えるための視点を育むことは、高齢者の有する能力や社会的な役割を尊重していくことにつながる。
心理学 (下垣 光教授)	講義内容は、記憶、認知、学習等の心理学の基礎知識に加え、障害者の心理、高齢者の心理、社会福祉実践に応用する心理学等、可能な限り実践的内容を盛り込む。社会福祉現場で活かせる支援方法の基礎を習得し、対人関係に人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を学習する。